

## 2025年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2025/10/25	映画『由島至島』上映会＋トークセッション	<p>&lt;講演者&gt; 廖克發氏・藍適齊氏・何雅琪氏</p> <p>&lt;実施内容&gt; 総合司会：五味洵典嗣（早稲田大学教育・総合科学学術院） 通訳：何雅琪（早稲田大学大学院教育学研究科博士課程） 12：30～17：40 『由島至島』上映会（途中休憩あり） 17：45～18：45 廖克發氏（『由島至島』監督）、藍適齊氏（『由島至島』歴史監修）とのトークセッション（質疑応答） ※ 参加者から廖氏・藍氏に自由に質問する形式 ※ トークセッションの使用言語は日本語（中国語通訳あり）</p>
2025/12/6	自分らしさが生きる「意志ある学び」をどう支える？ ーポートフォリオ×自尊感情×キャリアデザイナー	<p>&lt;講演者&gt; 鈴木 敏恵（国立大学法人北海道教育大学 特別講師）</p> <p>&lt;実施内容&gt; 基調講演（60分） ・ 講師：鈴木 敏恵 ①「夢ファイル」の実践の意図・方法の説明 ⇒自分の好き・得意・経験を軸にしたパーソナルポートフォリオの効果（自尊感情の高まり）について考える。 ②「ゴールシート」を使った実践の意図・方法の説明 ⇒ビジョンとゴールを自己決定する 実践を通して、キャリアデザインの在り方を考える。 ワークショップ（30分） ・ ゴールシートを作ってみよう！ ⇒子どもへの指導に生かすことができるよう、ビジョンとゴールの自己決定を体験する。 パネルディスカッション（30分） 鈴木敏恵先生、高橋あつ子先生、学生で意見交流 （学習・生徒指導に生かす方法を検討、質疑応答など） ⇒基調講演・ワークショップを通して感じたことを基に、学校現場で活かすべき視点や、その具体的な方法について議論を交わす。</p>
2025/12/16	講演会「使い捨て外国人・人権なき移民国家、日本ー入管問題・外国人労働事件から考える」	<p>&lt;講演者&gt; 指宿昭一氏（弁護士・暁法律事務所）</p> <p>&lt;実施内容&gt; 労働事件・外国人事件に特化して弁護・支援活動をされている、指宿昭一弁護士をお招きして講演会を実施する。</p>
2025/12/20	「あったらいいな、こんなキャリア教育」～キャリアガイダンス・カウンセリングに着目して～	<p>&lt;講演者&gt; 山田智之（日本キャリア教育学会 上越教育大学教授） たかのてるこ（地球の広報・旅人・エッセイスト） 田中典子：日本臨床心理カウンセリング協会</p> <p>&lt;実施内容&gt; このプログラムは、話題提供者のお話をもとに、学校現場で行われているキャリア教育について、中・高生、大学院生、教員、社会人等、それぞれの立場から意見をいただき、キャリアガイダンス、キャリアカウンセリングの両面から検討し、これからのキャリア教育の方向性を考えることを目的とする。</p>
2025/12/20	心理学は 社会でどのように活かされているのか～企業の人事、司法・矯正、研究の現場で活躍する卒業生とのワークショップ～	<p>&lt;講演者&gt;土橋 豪氏（LINEヤフー株式会社 ピープル・パートナーユニット）石橋 勝也氏（警視庁生活安全部少年育成課 少年相談係）村上 達也氏（立正大学 准教授）鷲尾 早紀氏（オイシックス・ラ・大地株式会社 HP本部 成長支援室）</p> <p>&lt;実施内容&gt; ①講演会 心理学を学ぶと社会でどのように活かせるの？ 早稲田大学の教育心理学を卒業した先輩たちから現場での様々なエピソードを聴きます。②ワークショップ 企業、司法、研究者の3つに分かれワークショップを行います。 企業分野：人事面接の動向、事業開発やチームづくり、キャリアを発展させていくコツについて 司法分野：非行少年の話聴くコツ、保護者の相談の進め方、加害者支援も含めて学部時代に何を学んでおくよいかについて 研究職分野：論文作成、業績の積み上げ方専門領域の深め方などについて</p>

2026/1/10	「子どもが『自然』・『生命』と出逢うとき」～子どもの姿を通じて学ぶ『自然科学教育』の意味～	<p>&lt;講演者&gt; 杉本 裕子（学校法人駒場けやき学園 駒場幼稚園 元園長） すとう あさえ（童話作家）</p> <p>&lt;実施内容&gt; 『自然科学教育に関する講演会』 講演会の趣旨： 自然科学教育は実体験や自然との関わりに基づいており、バーチャルな世界が台頭し理系離れも問題視されている現代において、その重要性は対象となる年齢を問わず高まっています。誰もが『自然』と関わり合いながら生きていますが、子ども（幼児）には『自然』からのメッセージを敏感に享受する感性があり、大人は子どもを介して気づきを得ることが多々あります。そこで、本講演会では、幼児教育に造詣の深いお二人の講師をお招きして、子どもたちが『自然』・『生命』と向き合う姿を通じて「自然科学教育の在り方」を考えたいと思います。今後さまざまな形で『教育』に携わることとなる学生に、より深く考えるきっかけを提供できればと考えています。</p>
2026/1/31	「つながりを取り戻す授業づくりへの招待－ものづくり体験をしてみませんか？－」	<p>&lt;講演者&gt; 蒔田豊明氏（小諸市社会教育委員、元中学校高等学校教員）</p> <p>&lt;実施内容&gt; アイスブレイキング（10分） ものづくりワークショップ（90分） 前半は、ものづくり体験です。ミニ織機を使った織物体験をしながら、蚕・綿花→糸→布→流通の工程を学び、小1国語「たぬぎの糸車」の授業から、日本の絹と軍艦の歴史、世界史の奴隷貿易の関係、現代の産業の構造、これからの社会のあり方等まで多様な授業のアイデアを講師の話と共に考えていきます。教科横断的な学びができるため、様々な教科や活動に取り入れることができます。参加者同士、気軽に雑談しながら作業したり、講師の話の聴いたりしていただけます。 ものづくりを取り入れた授業事例検討 藤條 学氏（公立小学校教員）（40分） 後半は、実際に、どの教科でどのようにものづくり体験を取り入れて、子どもの学びに繋げているのか、事例紹介と検討をします。 質疑応答・意見交換（30分） 様々な制限がある教育現場ですが、どのようにカリキュラムを調整するのか、同僚との協働の仕方、何を大切に、何を軸にして、指導しているか等、参加者が今感じている不安を話したり、校種も役割も異なる教員等の生の声を聞いたりすることができます。</p>

## 2024年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2024年12月21日	「子ども」と「社会」と「教員」で考えるキャリア教育プログラム	<p>&lt;講演者&gt; ①樋口 匠（（株）Globable 代表取締役） ②川嶋 悠里（（株）baton CurioS事業部企画開発チーム）</p> <p>&lt;実施内容&gt; サステナブルな未来に向けた学校教育を創るために「キャリア教育」を例に、教育関係者に加え、民間企業人、中高生を交えたパネルディスカッションやワークショップを通じて意見交流を実施した。</p>
2024年12月22日	映画『大好き～奈緒ちゃんとお母さんの50年～』上映会とシンポジウム	<p>&lt;講演者&gt; 伊勢 真一（ドキュメンタリー映画監督）</p> <p>&lt;実施内容&gt; ①『大好き～奈緒ちゃんとお母さんの50年～』（2024年伊勢真一監督作品）の上映会 ②「50年にわたる育ち合いの現実」を真ん中に据えて、伊勢監督、「助演女優」の西村信子さん（奈緒ちゃんのお母さん）、フリースペース元代表の滝谷美佐保さん（所沢のバクの会を20余年にわたって開き続けてこられた方）によるシンポジウムを実施。フロアとのやり取りをまじえて「『人間』を取り戻す教育」の根源について深く温かい議論がなされた。</p>
2024年12月23日	「弁護士から国会議員へ一個人を尊重する政治へ」講演会	<p>&lt;講演者&gt; 打越 さく良（参議院議員・弁護士）</p> <p>&lt;実施内容&gt; 教育学部の学生向けに、弁護士としての経験を踏まえ、訴訟実務における</p>

		法曹の役割と社会を変革する上でのその限界、国会における立法実務などについて講演会を実施した。
--	--	--

## 2023年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2023年6月31日	身近なサイエンス・実験教室！	<p>&lt;講演者&gt; 教育学部・GEC自然科学教育部門職員</p> <p>&lt;実施内容&gt; 教育学部・GEC自然科学教育部門化学実験室にて行われる文化系学生を対象とする実験科目から項目をピックアップ、これを対象者に合わせアレンジして実施。</p>
2023年10月24日	「〈戦前〉のリアルを知る——三上智恵監督最新作『沖繩、ふたたび戦場へ』スピノフ作品上映会」	<p>&lt;講演者&gt; 後藤 雄介（教育・総合科学学術院 教授）</p> <p>&lt;実施内容&gt; 映画「沖繩、ふたたび戦場へ（三上智恵監督 作）」の上映会</p>
2023年12月12日	「どうしてあいつは『ひまわり』なの？」—絵本から考えるインクルーシブ教育—	<p>&lt;講演者&gt; ①はばら ゆうすけ（大阪府内小学校 教員） ②美濃屋 裕子（スクールソーシャルワーカー） ③藤本 啓寛（教育総合科学学術院 助教）</p> <p>&lt;実施内容&gt; はばらゆうすけによる絵本『人間本会議』『ひまわり』を用いた参加型ワークショップ（90分）の実施 1. 著者による絵本の説明 2. 『人間本会議』を用いた就学前診断の概要についての説明 3. 『ひまわり』を題材とした参加者同士のディスカッション・ワークショップ 4. スクールソーシャルワーカーによるコメント</p>
2023年12月16日	「創ろう！新たなキャリア教育」～セカンドキャリアも見据えて～	<p>&lt;講演者&gt; 細山田 武史（トヨタ自動車野球部 コーチ） 福満 遼（外資系金融機関 社印） 三村 隆男（教育・総合科学学術院 教授）</p> <p>&lt;実施内容&gt; セカンドキャリアおよびセカンドキャリア教育の在り方に関するイベントを実施した。</p>
2023年12月23日	SCHOOL SHIFT	<p>&lt;講演者&gt; ①石川 一郎（元かえつ有明中高校長、元香里ヌヴェール学院中高校長、聖ドミニコ学園カリキュラムマネージャーなど現在8校の学校コンサル、地理歴史学科1985年卒） ②齋藤 亮次（公文国際学園中高等部教諭／ブランド分析室、早稲田大学教育・総合研究所特別研究員、地理歴史学科2011年卒） ③宮田 純也（一般社団法人未来の先生フォーラム代表理事、武蔵野大学アントレプレナーシップ研究所客員研究員、教育学科2014年卒）</p> <p>&lt;実施内容&gt; ハイブリット開催。3名の演者を招いて学校教育と教師の未来についての対談</p>
2024年1月28日	注文に時間のかかるカフェ上映会～吃音について知ろう～	<p>&lt;講演者&gt; 奥村安莉沙（注文に時間のかかりカフェ 代表）</p> <p>&lt;実施内容&gt; ハイブリット開催。吃音についてより多くの方に知ってもらうことを目的に、「注文に時間のかかるカフェ」映画の上映会。 実施内容は、第1部で上映会を行い、第2部で映画の監督（奥村安莉沙様）をお呼びし、講演会・質疑応答を実施した。</p>

## 2022年度 教育会イベント実施 一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2022年10月31日	「世界の見え方が180度変わった青ヶ島教育プログラムから学ぶ、学外教育の重要性」	<p>&lt;講演者&gt; 株式会社NOWMO FUNDより3名登壇</p> <p>事業内容：教育機会の創出</p>

		<p>&lt;実施内容&gt; 株式会社NOWMO FUNDの方々と当該プログラムに参加した早稲田大学高等学院に通う2名の生徒および早稲田大学の学生2名とのパネルディスカッション。また参加者を交えたグループワークを実施。</p>
2022年11月1日	労働問題解決に取り組んできたNPO法人代表が語る、現在の労働問題について	<p>&lt;講演者&gt; NPO法人POSSE代表 今野晴貴氏</p> <p>&lt;実施内容&gt; 演者による講演</p>

## 2021年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者、実施内容等
2022年2月20日	オンラインシンポジウム「21世紀の学校探究プログラム - これからの公教育のあり方について考える -」	<p>講演会およびディスカッション (Zoom)</p> <p>これからの公教育のあり方をテーマとしたオンラインシンポジウムを実施した。教育哲学と教育工学といった異なる分野の専門家や、特色ある「新しい学校」の代表者にご登壇いただき、質疑応答およびオープンディスカッションを行った。</p> <p>講演者：東京コミュニティスクール理事長、田園調布学園中等部・高等部学校長、LooHCS株式会社取締役、三尾忠男教授、藤井千春教授</p>
2022年6月24日	NPO法人による子どもたちの音楽体験活動 ～参加型クラシックコンサートの実演とコロナ禍での現状&課題～	<p>講演会およびディスカッション、演奏会 (対面)</p> <p>NPO法人みんなのこぼの皆様をお呼びして、子どももおとなも楽しめる参加型コンサートの実演を交えながら、コロナ禍における活動の現状と課題についてご報告いただく。</p>

## 2020年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2021年2月14日	若手教員のホンネ - 現場で何が起きているのか -	<p>講演会およびディスカッション (Zoom)</p> <p>若手教員による教育現場の変化の受け止め方-変化を能動的にとらえる公立・私立小学校の教諭 (2名から、教師の一日の働き方、コロナ禍で学校がどのような対応をしていたのか、自身のキャリア選択の背景について) の話をいただきました。</p> <p>その後、参加者同士でディスカッションをし、最後に、教育・総合科学学術院、河村 茂雄教授より総括いただきました。</p>

## 2019年度 教育会イベント 実施一覧

開催日	イベント名	講演者・実施内容等
2019年10月29日	企業が求める「主体性」とは何か	「企業が求める『主体性』とは何か～企業の管理職者の視点から～講演会・ディスカッション」 企業が求める「主体性」に着目し、以下についての講演、ディスカッションを実施した。 ①企業が求める「主体性」とは、何を意味しているのか、 ②企業では、「主体性」などの資質・能力を、仕事を通じてどのように育成しているのか
2019年11月11日	探究学習の可能性をさらに探る～深い学びの実現を目指して～	共同的な学習におけるMI理論を活用したグルーピングと、省察についての深い学びに重点をおいたワークショップを実施
2019年11月23日	多様なキャリア形成を考えるー学校とLGBTー	シンポジウムにおいて、パネリストより学校現場におけるLGBTへの取り組みの必要性やLGBTの子どもが学校生活で困ること等について聞き、参加者一人一人がLGBTの子どもたちとの望ましい関わり方について考え、今後の教員生活へ活かす機会とした。
2019年11月29日	こども食堂からみえる子ども・大人・地域社会	日本の子ども食堂の先駆けとなった「気まぐれ八百屋だんだん」（大田区）を運営する近藤博子氏を講師に招き、子ども食堂と、食堂を訪れる子ども達の現状について講演した。
2019年12月1日	小学校「プログラミング教育」勉強会	「小学校プログラミング教育」についての講演会を実施した。 小学校でのプログラミング教育必修化に向けて、その方向性の検討や、具体的にどのような実践を行うことが出来るかを検討・体験した。
2019年12月12日	中米コスタリカに学ぶ、二一世紀平和憲法の未来	「映画『コスタリカの奇跡』を観て二一世紀の平和憲法のあり方について考える」  日本では不戦を謳った第九条と同様の条項を持つ憲法を有する中米のコスタリカでは、21世紀に相応しいものとしてこれを打ち出し、国内外にアピールする姿勢をより鮮明にしている。企画ではそうしたコスタリカの取り組みを描いた映画『コスタリカの奇跡』（マシュー・エディー、マイケル・ドレリング監督、2016年）を上映。併せて、元朝日新聞記者で中南米支局長時代よりコスタリカを含むラテンアメリカ地域を精力的に取材し、現在はピースポート等の講師として平和憲法と民主主義の意義を説いている伊藤千尋氏をお招きし、映画の解説ならびに同様の憲法を有するコスタリカと日本の今後について講演した。
2019年12月20日	身近なサイエンス・実験教室	概説→実験→詳解のフローにて、実験の体験を通し現象を理解し、自然科学に向かう洞察力を養う ・水の気化、液化する際の体積の比較観察 ・付着傾向の応用、合金の生成
2020年1月18日	外国籍児童生徒とキャリア教育	・文部科学省の調査では、日本語指導が必要な児童生徒の割合は、増えているとされているが、適切な文化理解のもとに指導がなされていない。また、在留資格の問題や企業の受け入れ態勢の問題等によって、進路指導担当教諭の指導が複雑になっている問題点を本シンポジウムにおいて、問題提起をするとともに、パネリストから外国人児童生徒の学校適応と進路指導の2点を中心にお話を聞き、学校内での異文化共生社会の実現に向けて現場では何ができるのかについて考えた。
2020年1月29日	学びのユニバーサルデザイン 学びのオーナーシップは誰のもの？	講演会・ワークショップ 子どもたちが主導する「主体的・対話的で深い学び」を実現するかが教師にとって喫緊の課題である。学習者主導の学びを教室で実現していくためには、教師一人ひとりの在り方（マインドセット）が大きく転換しなければならない。そこで、近年急速な広がりを見せ、日本でも少しずつ実践が広がりつつあるUDLを日本の教室と関連付けながら学んだ。
	教員就職指導会	複数回実施 ・合格体験談 ・論文指導 ・『小学校教員資格認定試験』体験発表会